

令和7年度 浜松市立竜禅寺小学校 学校評価報告

1 自己評価

(1) アンケート結果

令和7年度 振り返りアンケート結果 数値は、いつもできた・ときどきできたの割合		児童							保護者	教職員
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	児童全体	保護者	教職員
竜の子宣言	進んで気持ちの良い挨拶をします	91.5	90.4	89.6	98.1	97.8	92.7	93.4	88.0	88.2
	目標に向かって粘り強く取り組みます	95.8	88.7	93.8	96.2	100.0	100.0	95.8	88.0	100.0
	思いやりの心を持って行動します	97.9	90.3	97.9	96.2	100.0	100.0	97.1	95.0	94.4
	安全に気を付けて元気に生活します	97.9	91.9	100.0	96.2	97.7	95.2	96.5	95.0	55.5
平均		95.8	90.3	95.3	96.7	98.9	97.0	95.7	91.5	84.5

(2) 考察

児童の数値も保護者の数値も、平均90%以上達成していることが分かりました。これは、創立100周年を機に、これからの竜禅寺小学校の子供たちが、どんな子に育ててほしいかを児童・保護者・教職員で考え、みんなの想いを形にした「竜の子宣言」を核に教育活動を進めていきたことの成果であると推測されます。

教職員の数値は、平均84%の達成状況でした。授業や行事を通して、竜の子宣言を核とした教育活動を意識して行うことができたことが達成率に表れていると推測されます。「安全に気を付けて元気に生活します」については、児童・保護者と教職員の捉え方に大きな開きがありました。定期的に学校の決まりや運動場の使い方、交通ルールを確認することについては一定の効果はありましたが、学校全体の「規律」の部分の確認が改めて必要であると考えます。

(3) 今後の教育活動について

学校教育目標である「夢を持ち ともに輝く」を実現するために、令和8年度もキャリア教育の考えを土台としながら、創立100周年を機に、これからの竜禅寺小学校の子供たちが、どんな子に育ててほしいかを児童・保護者・教職員で考え、みんなの想いを形にした「竜の子宣言」(下記の表)を核に教育活動を進めていきます。

【竜の子宣言】	
・進んで気持ちの良い挨拶をします	・目標に向かって粘り強く取り組みます
・思いやりの心を持って行動します	・安全に気を付けて元気に生活します

(4) いじめのない学級・学校づくりについて

アンケート設問	保護者	教職員
学校は、いじめのない学校や学級、環境づくりに取り組んでいましたか。	93%	100%

4月のキャリア・カウンセリングにおいて、「竜禅寺小いじめ防止基本方針」の内容に触れ、学校の方針を全保護者に直接説明したことや、ブログを通して学校の様子を毎日伝えたことがいじめのない学校や学級、環境づくりに有効であったと考えます。

またICT機器(スマートフォンやタブレット、ゲーム機等)を介し、SNS上での書き込みや画像等の掲載に関するトラブルが、いじめにつながることも考えられるため、今年度は、月に1回、全学年で情報モラルについて学ぶ活動を取り入れたり、高学年では参観会のときに情報モラル講座を実施したりしました。今後も、学校での活動の様子

を具体的に保護者に伝えていきます。

2 学校関係者評価

2月17日（火）に開催した学校運営協議会において、自己評価結果及び考察について委員に報告し、以下のような意見をいただきました。

- ・周りの学校より竜禅寺小の子の方が挨拶ができています。誇りに思う。
- ・いじめの問題に関して、ニュースでは口喧嘩から人殺しになるなど、感情を抑えられない子がいる。我慢することが忘れられており、立ち止まって考えることが相手を思いやることになる。そこが足りなくなっているので子供たちに育ててほしい。
- ・振り返りアンケート結果の「安全に気を付けて元気に生活します」で教職員ができていると回答した割合が55.5%と低い。大人は経験値から危険予知ができるが、子供たちは危険予知ができないからではないか。
- ・生活科の昔の遊びや1年生の給食支援も継続していきたい。読み聞かせも積極的な方が多く盛り上がっているので、継続したい。

3 学校関係者評価を受けて

令和8年度も、キャリア教育の考えを土台としながら、「竜の子宣言」を核に教育活動を進めていくことで、思いやりの心の育み、いじめの未然防止にもつながると考えます。

また、「安全に気を付けて元気に生活します」の項目については、学校全体の「規律」の部分の確認と保健の学習で行う交通安全・校内の危険予知トレーニングなどを活用した取り組みを行っていきたいです。